

2011年度

科目名	薬物治療学ゼミナール				
担当教員	田中 静吾、雪村 時人				
配当	薬学6		コード	24089	
開期	前期	講時	火曜日4限	単位数	2
授業テーマ	疾患と薬物治療				
目的と概要	薬剤師には医療現場で、医療チームの一員として、どれだけ「薬のプロ」としての能力を発揮できるかが問われている。薬のプロとして活躍するためには、医師や看護師と治療方針について討論し、専門の立場から薬物治療に関する提言ができる能力を身につける必要がある。本演習では、症例検討を通じて、臨床症状や理学所見、検査データなどから、診断および薬物治療法の決定にいたるプロセスを解説する。さらに、個々の症例について、薬剤管理指導(服薬指導)に必要な医薬品情報の収集や提供のための基本知識、技能、態度の修得を目指す。このため、本演習は少人数のゼミナール形式でおこなわれる。				
成績評価法	発表および討論への参加(50%)、レポート(50%)で評価する。				
テキスト	特になし				
参考書	必要に応じて提示				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	ゼミナール形式のため積極的な発表と討論への参加が求められます。無断欠席は厳禁です。(履修人数は最大30名)				
講義計画					
第1回 心臓・血管系の疾患(1) 第2回 心臓・血管系の疾患(2) 第3回 血液・造血器の疾患 第4回 消化器系疾患 第5回 腎臓・尿路・生殖器の疾患(1) 第6回 腎臓・尿路・生殖器の疾患(2) 第7回 呼吸器・胸部の疾患 第8回 内分泌系疾患 第9回 代謝性疾患 第10回 神経・筋の疾患(1) 第11回 神経・筋の疾患(2) 第12回 神経・筋の疾患(3) 第13回 精神疾患 第14回 その他の疾患(1) 第15回 その他の疾患(2)とまとめ (補助教員)竹橋正則、山形雅代、奥田明子、筒居秀伸					